



福祉

なかやま ひろこ
中山 廣子 議員 (公明党)

「手話リンク」の導入を

答弁…調査・研究を進めていきたい



▲録画配信
(2月24日一般質問)

問 「手話リンク」とは、聴覚障がい者のかたへの支援として、市HPに設置するボタン一つで通話者につながり、手話や文字・音声通訳で電話での問い合わせが可能になるサービスで、費用は通話料のみである。導入と周知を検討してはいかがか。

答 手話リンクは、聴覚障がい者の情報格差を解消する役割を果たす手段の一つであると考える。令和7年度新しく始まったサービスであるため、県内で既に導入している先進自治体を参考に、導入と周知について調査・研究を進めていきたい。



「電話リレーサービス」
(出典：政府広報オンライン)

母子 産後ケア事業の利便性向上へ

答弁…相談を通じて状況を把握し支援していく

問 産後ケア事業は、母子の心身の安定を支える重要施策。母親の負担及び職員の業務負担の軽減を目的として、申請や予約、空き状況の確認など、利用調整を一元化する予約サービス「あずかるこちゃん」を導入してはいかがか。

答 ベッドの空き状況の見える化や利用者増による医療機関等との調整事務の増大が課題だが、費用対効果の面からシステム導入は難しい。訪問や電話による予約受付を通じて、産後の母親の状況を把握しながら休養の確保や心身の回復等の支援につなげていく。



教育

ひしぬま あゆみ
菱沼 あゆ美 議員 (公明党)

不登校児童・生徒の健康診断と外出支援

答弁…先進自治体を参考に調査・研究していく



▲録画配信
(2月25日一般質問)

問 不登校児童・生徒の学校健康診断の未受診状況は。病院での受診を促すために費用を助成してはどうか。また、18歳以下の子どもが無料で芸術鑑賞ができる、劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業がある。外出支援として周知や利用促進をしては。

答 不登校児童・生徒の未受診者数は59名である。引き続き、受診勧奨を徹底しつつ、先進自治体の実施状況や財源確保の在り方等を調査・研究していく。また、芸術鑑賞等、外出支援につながるものは、関係機関においても、情報提供や掲示などの周知に努める。



文化庁の令和7年度事業チラシ

安全 安心安全なまちづくりを

答弁…照明灯と歩道橋の安全対策を進めていく

問 白岡西交差点から東方向への1つ目の交差点は、人や車両の交通量が多く夜間は非常に暗い。交通安全と防犯のために道路照明灯の設置が必要ではないか。また、西小歩道橋は小学生や高齢者が多く通行する。安心して利用できるように、手すりを設置できないか。

答 道路照明灯は付近の安全対策に有効なため、設置位置や周辺施設への影響等を整理し予算確保に努める。西小歩道橋の手すりは、構造上の条件確認や技術面等を精査し、設置の可否も含めて検討していく。引き続き、地域の安全な道路環境の整備を推進する。